



平成 25 年 9 月 30 日

各 位

会社名 株式会社 ソ ケ ッ ツ  
 代表者名 代表取締役社長 浦 部 浩 司  
 (コード番号：3634 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 宮 木 公 平  
 経営企画管理本部長  
 ( TEL. 03-5785-5518 )

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 9 月 30 日開催の取締役会において、平成 26 年 3 月期の第 2 四半期累計期間の業績が当初の計画を上回る見込みとなったことを踏まえ、平成 25 年 5 月 1 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）の連結及び個別の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。また、平成 26 年 3 月期の第 2 四半期会計期間において以下の特別損失を計上することとなり、平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）及び通期の連結並びに個別の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 1. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,020	百万円 10	百万円 10	百万円 5	円 銭 2.25
今回修正予想 (B)	1,125	25	25	▲137	▲59.82
増減額 (B-A)	105	15	15	▲142	—
増減率 ( % )	10.3	150.0	150.0	—	—

(注) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期から連結決算へ移行しておりますが、連結子会社の株式の取得日を第 2 四半期連結会計期間の末日としているため、連結子会社の業績は含まれておりません。そのため、第 2 四半期（累計）の前年実績は、記載しておりません。

当期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,500	百万円 100	百万円 100	百万円 60	円 銭 27.00
今回修正予想 (B)	2,500	100	100	▲95	▲40.33
増減額 (B-A)	—	—	—	▲155	—
増減率 ( % )	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 3 月期)	2,499	219	218	126	56.99

※特別損失の計上は、第 2 四半期会計期間となります。第 3 四半期以降は、見込んでおらず、通期計画における特別損失の計上額は、第二四半期（累計）と同額を見込んでおります。

平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,000	百万円 15	百万円 9	円 銭 4.05
今回修正予想（B）	1,080	30	▲134	▲58.51
増 減 額（B－A）	80	15	▲143	—
増 減 率（％）	8.0	100.0	—	—
（参考）前期第 2 四半期実績 （平成 25 年 3 月期第 2 四半期）	1,224	105	63	28.72

当期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 2,460	百万円 110	百万円 65	円 銭 29.25
今回修正予想（B）	2,460	110	▲90	▲38.20
増 減 額（B－A）	—	—	▲155	—
増 減 率（％）	—	—	—	—
（参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	2,414	234	136	61.37

※特別損失の計上は、第 2 四半期会計期間となります。第 3 四半期以降は、見込んでおらず、通期計画における特別損失の計上額は、第二四半期（累計）と同額を見込んでおります。

## 2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間において、メディアビジネスの音楽関連を中心とした BtoBtoC 向けサービスの開発に伴う売上が想定を上回る見込みとなり、かつ開発の効率化等から、外注費を中心に削減が図れる見通しとなったため、当第 2 四半期業績予想については、売上高、営業利益及び経常利益の予想数値を修正いたします。また、当期純利益につきましては、特別損失の計上により第 2 四半期業績予想及び通期業績予想について修正いたします。

なお、同日付にて「カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との合弁会社設立に関するお知らせ」を公表しております。設立を予定している合弁会社については、関連会社となり、持分法適用会社の予定となりますが、平成 26 年 3 月期の連結業績に与える影響については、下半期であること及び両社データベース連携のための共通基盤の初期開発と一部の運用の開始が中心となる予定であるため、今期においては、その影響は軽微となりますが、本件については、中期的には業績向上に資するものと考えております。今後、業績予想の修正が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 3. 特別損失の計上について

今回のカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との資本・業務提携が確定し、今後の中長期的な成長戦略と経営資源を踏まえ、現在取り組んでいるMSDBを活用した各種サービス開発等の開発中のソフトウェアを中心に、データベース及びマーケティングエンジン開発を短期的かつ機動的に推進するため、選択と集中

を積極的に実施いたしました。その結果、MSDBを活用した一部の自社WEBサービスの終了及び一部の地域・放送関連等の開発中のソフトウェアについては、一時中断することとしました。MSDBとの連携によるその効果が不確定であり、かつサービスにおける将来収益の見込みがないと判断したソフトウェアについてもあわせて減損を実施し、固定資産の廃棄損 55 百万円及び減損損失 125 百万円を計上いたします。また、関係会社の株式についても、短期的な事業戦略上の変更に伴い、回復可能性が不確実となったことから、関係会社株式評価損 29 百万円を計上することといたします。なお、当該株式については、持分法非適用の関連会社に係るものであり、連結においても、個別同様に関係会社株式評価損として特別損失の計上となります。

今後においても、「データベース・サービスカンパニー」としてデータベースを活用したその人にあった音楽、書籍、映像、又は、作品の特徴キーワードや人名によるメディア横断型等の作品の気づき、出会いを中心に提供し、データベースとそのエンジンの開発とそれらを活かしたサービスを自社オリジナル及び協業モデルにて推進して参ります。また、多くのユーザーベースを持っている協業パートナーを中心にOEM提供等やデータベースマーケティング分野への展開も図って参ります。

なお、配当につきましては、期初計画どおり 1 株当たり年間 5 円と変更はございません。

以 上